

平成30年度「市長と語ろう会」実施報告(概要)

市長と語ろう会の
実施目的

本市の広聴機能の充実に向け、市の重要施策や事業について、市民の皆様が要望・提案等ができる機会を拡充し、市政に関する関心や理解度を向上させるとともに、市民とのコミュニケーションの中で、各地域や世代・職業等による個別課題を共有し、市民と行政との協働によるまちづくりを推進する

1 開催概要

① 開催テーマ 「若者とともに考える地方創生」

② 開催日程等

開催日程	対象 (開催場所)	参加者数
平成30年10月31日(水) 15:00～17:00	高知大学学生 (高知大学朝倉キャンパス)	24人
平成30年12月1日(土) 9:30～11:30	高知県立大学学生 (県立大学永国寺キャンパス)	40人
平成31年1月12日(土) 9:30～11:30	高知商業高校生徒 (オーテピアホール)	27人
平成31年2月25日(月) 14:00～16:00	高知学園短期大学学生 (高知学園短期大学)	25人

のべ参加者数 116人



③ 市長からの説明内容

- 地方創生とは
- 高知市の概要
- 高知市の将来人口
- 高知市の取り組み
- 高知県・高知市の将来人口(目標人口)



2 意見交換会で出された主な意見・提案

ライフスタイル・高知の魅力

- 仁淀川・鏡川など川がきれい。綺麗な観光資源になる
- 学生からアイデアが出せる場があればいい
- 外国人対応ができる「キャッシュレス化」を進めてはどうか
- 中小企業を中心とした面談会の機会をふやしていく
- 婚活は学生も支援すべき。彼氏が社会人なら高知で就活する
- 特有の野菜や魚を組み合わせると人気が出るのでは

これからも高知で暮らすには
若者が行きたくなるまちにするには

- 空き家を、大学生向けのシェアハウスなどに活用できないか
- 移住者向けツアーに高校生が絡めないか。
- 商店街の隠れた名店など魅力を巡るスタンプラリーや本を作ってほしい

移住・定住, 中心市街地活性化

- 高知市ならではの特別なボーナスや休暇の設定
- 県内大学に外国語学部や観光学科などの設置
- 県外高校生との短期交換留学の実施
- 県内の高校生が開発した商品を集めた販売イベントを開催
- カツオが入った「かつおやきい」を出店

楽しい街にするには
健康に暮らせる街にするには
働きやすい街にするには

- ひろめ市場の若者バージョンのような場所が欲しい。
- 栄養豊富な給食レシピを保護者に配ってみはどうか
- 歯磨きを小・中学校の時間割りに組み込んで
- 産休・育休が充実していて、子育てしやすい環境で働きたい
- 職場体験の場を高校生の段階で多く経験したい

高知をもっと楽しくするには

- 市民が集まり交流する場の創造
- よさこい祭りを通じたさらなる振興策
- 観光客を対象としたリピーター確保策

その他, 多くのご意見, ご提案を
いただきました

今回いただいたご意見やご提案は、令和2年策定の次期「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の参考とさせていただきます。また、令和元年度は、「子育て」に関するテーマで開催し、市民の皆様のご意見・ご提案をいただき、市政運営に活かしてまいります。